

集落名	人・農地プラン掲載者 (H30.3月更新)				担い手は十分 いるかどうか	地域特性	アンケート結果 (営農意向)
	認定農 業者	認定新 規就農 者	基本構 想水準 到達者	掲載の み			
1 棚原	-	-	-	-	担い手がいない	<ul style="list-style-type: none"> ・大半は市街化区域で傾斜地 ・農地が点在(集落上部と下部の一部は農振地域) ・区画整理事業(西地区)が進んでいる ・県道(那覇北中城)の整備がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地所有者は80歳以上と70代で53%と高いが、50代と50歳未満で23%と他地区に比べて若い方もいる状況である。 ・現状を維持したい方が54%と他地区に比べて低く、現時点で後継者のメドがない方が20%おり、今後が心配な状況にある。
2 徳佐田	-	-	-	-	担い手がいない	<ul style="list-style-type: none"> ・区画整理事業(西地区)が進んでいる ・モノレール駅周辺 ・集落の大半が農振地域 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地所有者は80歳以上と70代で69%を占めており、高齢化が進んでいる。 ・現状を維持したい方が67%と多いが、現時点で後継者の目途がない方が33%おり、今後どう後継者に繋げていくかが課題だといける。
3 森川	-	-	-	-	担い手がいない	<ul style="list-style-type: none"> ・集落の大半は市街化区域 ・一部農地がある(農振白地) 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地所有者が60代と70代で90%となっている。 ・その中で1件以外は、将来の経営規模を維持したいと回答しており、78%は後継者もいる状況のため、今すぐに農地が耕作放棄されるとは考えにくい。ただ、後継者の目途がない方も22%おり、今後の農地の利活用を検討する必要がある。
4 上原	-	-	-	-	担い手がいない	<ul style="list-style-type: none"> ・集落の大半は市街化区域で高台地域 ・大学周辺は区画整理がされている ・県道(那覇北中城)の整備がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地所有者は50代と60代が56%を占めており、他地区と比べて高齢化は進んでいない。しかし、現状を維持したい方が55%と少なく、貸したい、売りたい、農業を行っていないが合わせて45%となっており、農業の継続意識が低い。農地バンクを活用したいと回答した方が81%と高く、農地を担い手に繋げることを検討していく必要がある。
5 翁長	-	-	-	2	担い手はいるが十分ではない	<ul style="list-style-type: none"> ・坂田周辺は市街化区域 ・農地が点在(大学、消防施設周辺は農振地域) ・県道(浦添西原)の整備がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地所有者は60代が48%を占めており、他地区より高齢化は進んでいない。しかし、現状を維持したい方が48%で、農地を所有しているがもう農業が行っていない方が36%と多く、農地利活用の今後が課題である。また農地バンクを活用したいという方も81%と高く、農地を担い手に繋げることを検討していく必要がある。
6 呉屋	-	-	-	-	担い手がいない	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校裏手に農地(平坦)が広がっている。 ・集落中央部が農振地域となっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地所有者は80歳以上と70代で56%を占めており、高齢化が進んでいる。 ・現状を維持したい方が74%と多いが、現時点で後継者のメドがない方が20%おり、今後が心配な状況にある。
7 津花波	2	-	-	1	担い手はいるが十分ではない	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良にて基盤整備がされている ・水の確保ができています 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地所有者は80歳以上と70代で60%を占めており、高齢化が進んでいる。 ・現状を維持したい方が38%と少なく、現時点で後継者のメドがない方が30%、農地を売りたい方が20%となっており、今後農業の継続が厳しいと考えられる。
8 小橋川	1	1	1	-	担い手はいるが十分ではない	<ul style="list-style-type: none"> ・県道周辺は市街化地域 ・集落内にまとまった農地がある(宇津尾地区) ・畜産を営む者がいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地所有者は80歳以上と70代で55%を占めており、高齢化が進んでいる。 ・現状を維持したい方が74%と多いが、現時点で後継者のメドがない方が20%おり、今後が心配な状況にある。
9 内間	-	1	-	-	担い手はいるが十分ではない	<ul style="list-style-type: none"> ・集落の大半が傾斜地となっている ・小橋川地域に隣接している部分は農振地域となっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地所有者は80歳以上と70代で71%を占めており、特に高齢化が進んでいる。 ・現状を維持したい方が72%と多いが、現時点で農業を行っていない方が22%、後継者がいない方が23%となっており、今後の農地の利活用について検討していく必要がある。

No.	集落名	人・農地プラン掲載者 (H30.3月更新)				担い手は十分 いるかどうか	地域特性	アンケート結果 (営農意向)
		認定農 業者	認定新 規就農 者	基本構 想水準 到達者	掲載の み			
10	掛保久	1	1	-	-	担い手はいる が十分ではない	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良にて基盤整備がされている ・水の確保ができています(崎原地区) ・畜産を営む者がいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地所有者は80歳以上と70代で69%を占めており、特に高齢化が進んでいる。 ・現状を維持したい方が65%と多いが、現在耕作している農地を貸したい方が8%で、農地バンクを活用したい方が61%いるので、農地を担い手に繋げていける可能性が高い。
11	小那覇	3	3	-	6	担い手はいる が十分ではない	<ul style="list-style-type: none"> ・集落内にまとまった農地(平坦)がある ・海浜部にて事業計画(MICE)が予定されている ・県道(浦添西原)、国道バイパスの延伸計画がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地所有者は80歳以上と70代で54%を占めており、高齢化が進んでいる。 ・現状を維持したい方が60%と多いが、現時点で後継者のメドがない方が22%、誰かに貸したい方が9%おり、今後、後継者へどう繋げていくかが課題である。
12	兼久	2	-	-	3	担い手はいる が十分ではない	<ul style="list-style-type: none"> ・国道側は市街化区域、海浜部に農地が広がっている ・JAの出荷場がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地所有者は60代以下が74%と比較的に若い割合となっている。 ・農地を所有しているがもう農業は行っていない方は19%となっており、今後この農地をどう利活用すべきか検討する必要がある。
13	幸地	1	2	-	1	担い手はいる が十分ではない	<ul style="list-style-type: none"> ・傾斜地、集落の大部分は農振地域 ・高速インターチェンジの計画がある ・畜産を営む者がいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地所有者は80歳以上と70代で50%となっており、他地区に比べては若い状況である。 ・農地を所有しているが農業を行っていない方が33%と非常に高く、現時点で後継者のメドがない方が53%おり、今後、農地をどう利活用すべきか検討する必要がある。
14	与那城	-	1	-	-	担い手はいる が十分ではない	<ul style="list-style-type: none"> ・集落の大部分が市街化区域 ・公共施設が多数存在する ・図書館周辺に少しの農地がある(農振地域) 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地所有者は80歳以上と70代で56%を占めており、高齢化が進んでいる。 ・現状を維持したい方が74%、農業を行っていない方も13%と少なく、後継者についても87%は決まっている。今後も安定して農業を維持していけると思われる。
15	我謝	1	-	-	3	担い手はいる が十分ではない	<ul style="list-style-type: none"> ・集落の大部分が市街化区域 ・与那原町側に農地が広がっている(農振地域) ・畜産を営む者がいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地所有者は60代が48%を占めており、他地区と比べて高齢化はさほど進んでいない。 ・現状を維持したい方が85%と多く、現時点で後継者のメドがない方が28%おり、今後、農地をどう利活用すべきか検討する必要がある。
16	安室	2	-	-	1	担い手はいる が十分ではない	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良にて基盤整備(2か所)がされている ・小学校周辺が農振地域(平坦) 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地所有者は60代が48%を占めており、他地区と比べて高齢化はさほど進んでいない。 ・現状を維持したい方が66%と多いが、現時点で後継者のメドがない方が31%おり、今後、農地をどう利活用すべきか検討する必要がある。
17	桃原	-	-	-	-	担い手がいない	<ul style="list-style-type: none"> ・集落内の平坦地に住宅がまとまっている ・傾斜地に農地が広がっている(農振地域) 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地所有者は80歳以上と70代で53%を占めており、高齢化が進んでいる。 ・現状を維持したい方が54%、もう農業を行っていない方が38%と多いため、耕作放棄地化を未然に防ぐためにも農地バンクを活用し、農地を担い手に繋げることを検討していく必要がある。
18	池田	-	-	-	-	担い手がいない	<ul style="list-style-type: none"> ・集落の大半が傾斜地 ・幸地に隣接する部分に農地が広がっている(農振地域) ・畜産を営む者がいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地所有者は80歳以上と70代で57%を占めており、高齢化が進んでいる。 ・現状を維持したい方が70%と多い。また、貸したい・売りたい・農業は行っていない方が25%となっており、今後その農地をどう利活用すべきか検討する必要がある。
19	小波津	2	-	-	2	担い手はいる が十分ではない	<ul style="list-style-type: none"> ・県道(浦添西原)の整備がある ・直売所が開業予定(令和2年12月) ・消防・役場施設の周辺に農地がある(農振地域) ・畜産を営む者がいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地所有者は80歳以上と70代で52%を占めており、高齢化が進んでいる。 ・現状を維持したい方が74%と多く、現時点で後継者のメドがない方が28%となっており、今後その農地をどう利活用すべきか検討する必要がある。